



## 2023年2月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月7日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東  
 コード番号 6555 URL https://www.msandc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 並木 昭憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 日野 輝久 TEL 03(5649)1185  
 四半期報告書提出予定日 2022年10月7日 配当支払開始予定日 2022年11月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年2月期第2四半期の連結業績(2022年3月1日~2022年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	992	26.5	77	42.4	76	45.6	54	35.2	54	31.5	49	16.9
2022年2月期第2四半期	784	63.7	54	-	52	-	40	-	41	-	42	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	12.44	12.31
2022年2月期第2四半期	9.30	9.24

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年2月期第2四半期	3,636	2,883	2,914	80.1
2022年2月期	3,901	2,866	2,895	74.2

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2023年2月期	-	8.00	-	-	-
2023年2月期(予想)	-	-	-	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,215	14.5	373	17.8	372	18.7	240	17.0	240	16.2	55.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年2月期2Q	4,465,000株	2022年2月期	4,465,000株
2023年2月期2Q	125,369株	2022年2月期	128,169株
2023年2月期2Q	4,338,885株	2022年2月期2Q	4,414,983株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当上半期における我が国経済は、行動制限の解除によって新型コロナウイルス感染症拡大の影響は幾分和らいだものの、ウクライナ侵攻で顕著となったエネルギー・輸入原材料価格の高騰を、円安が更に加速させたことで、企業収益や家計の実質所得が圧迫され、依然として2019年10月に実施された消費増税以前の国内総生産を回復できない状況にあり、当社の主要顧客である外食・小売など内需型サービス産業にとって、厳しい環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ」(以下「MSR」という。))をはじめとしたミステリーショッピングリサーチ事業の国内における売上収益は、前上半期と比較し、26.6%増となりました。主な内訳として、MSRは国内の調査数で33.7%増、国内の売上収益で13.2%増、コンサルティング・研修(以下「コンサル」という。))は、国内の売上収益で88.6%増となっております。以上の結果、前上半期と比較し、売上収益で26.5%増、営業利益で42.4%増となり、上期業績予想に対して、親会社の所有者に帰属する当期利益では達成となりました。

これは、外食業界におけるMSRの回復などに加え、SaaSの導入やオンライン研修も含めたコンサルが大きく伸長したことによるものです。

受注高においては、前上半期と比較し、2.6%増となりましたが、当第2四半期では前年同四半期比8.9%減となっており、感染第7波の影響による営業活動の停滞、原材料価格高騰によるコスト抑制ニーズの高まりといった新型コロナウイルス感染症拡大などの悪影響が続いております。

生産面では、調査数の着実な増加に伴い、稼働の平準化による生産コストの逡減を図りつつ、安定的且つ効率的な生産体制の再構築を進めております。

管理面では、前上半期と比較し、原価が18.1%増、販売費及び一般管理費が22.5%増となりました。原価では、調査数増、売上収益増に伴うモニター謝礼ならびにレポート生産や顧客紹介などに関する外注費、業績回復による昇給及び賞与の満額支給(注)に伴う労務費、追加のサーバー増強などIT投資の促進に伴う賃借料などが主に増加しました。また、販管費は、業績回復による昇給及び賞与の満額支給(注)に伴う人件費、広告宣伝費、会議費及び接待交際費、旅費交通費、採用費、貸倒引当金などが主に増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益991,502千円(前年同期比207,990千円増)、営業利益76,893千円(前年同期比22,909千円増)、税引前四半期利益75,891千円(前年同期比23,782千円増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益53,957千円(前年同期比12,912千円増)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 前上半期は夏季賞与の一部削減を実施しました。但し、前期は結果的に営業利益が予算を大幅に達成したため、本削減分を決算賞与として支給しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物が286,252千円、営業債権及びその他の債権が47,874千円減少し、使用権資産が38,196千円、その他の無形資産が23,152千円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて265,590千円減少し、3,635,680千円となりました。

負債については、リース負債が37,923千円増加したものの、営業債務及びその他の債務が158,677千円、借入金が83,328千円、その他の流動負債が50,351千円、未払法人所得税等が27,924千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて282,357千円減少し、752,482千円となりました。

資本については、配当金支払による利益剰余金の減少34,695千円、親会社の所有者に帰属する四半期利益53,957千円等により、前連結会計年度末に比べて16,767千円増加し、2,883,197千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ286,252千円減少し、786,140千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、106,178千円の支出(前年同期は73,410千円の収入)となりました。これは、税引前四半期利益の計上75,891千円、営業債権及びその他の債権の減少額51,337千円、営業債務及びその他の債務の減少額158,715千円、法人所得税の支払額38,622千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、44,792千円の支出(前年同期比24,779千円増)となりました。これは、無形資産の取得による支出43,210千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、133,535千円の支出(前年同期比22,146千円増)となりました。これは、長期借入金の返済による支出83,328千円、配当金の支払額34,695千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月7日の「2022年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,072,392	786,140
営業債権及びその他の債権	318,599	270,725
棚卸資産	6,233	23,468
その他の流動資産	44,144	50,460
流動資産合計	1,441,368	1,130,793
非流動資産		
有形固定資産	12,628	10,465
使用権資産	32,933	71,130
のれん	2,223,891	2,223,891
その他の無形資産	133,443	156,595
その他の金融資産	36,152	33,653
繰延税金資産	20,853	9,153
非流動資産合計	2,459,902	2,504,887
資産合計	3,901,270	3,635,680
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
借入金	166,656	152,800
リース負債	30,899	29,998
営業債務及びその他の債務	644,047	485,370
未払法人所得税等	43,208	15,284
引当金	4,369	4,369
その他の流動負債	60,659	10,309
流動負債合計	949,837	698,129
非流動負債		
借入金	69,472	—
リース負債	1,120	39,944
引当金	14,410	14,410
非流動負債合計	85,002	54,354
負債合計	1,034,839	752,482
資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	2,009,308	2,009,339
自己株式	△90,185	△88,215
その他の資本の構成要素	△18,486	△20,503
利益剰余金	948,930	968,193
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,894,567	2,913,814
非支配持分	△28,136	△30,617
資本合計	2,866,430	2,883,197
負債及び資本合計	3,901,270	3,635,680

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
売上収益	783,511	991,502
売上原価	△533,764	△630,540
売上総利益	249,747	360,962
販売費及び一般管理費	△260,882	△319,613
その他の収益	67,371	35,615
その他の費用	△2,253	△72
営業利益	53,984	76,893
金融収益	6	6
金融費用	△1,880	△1,008
税引前四半期利益	52,109	75,891
法人所得税費用	△12,452	△22,278
四半期利益	39,657	53,613
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	3,002	△2,550
純損益に振り替えられることのない 項目合計	3,002	△2,550
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△342	△1,603
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△342	△1,603
税引後その他の包括利益	2,660	△4,154
四半期包括利益	42,317	49,460
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	41,046	53,957
非支配持分	△1,389	△344
四半期利益	39,657	53,613
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	42,806	51,941
非支配持分	△490	△2,481
四半期包括利益	42,317	49,460
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9.30	12.44
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9.24	12.31

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上収益	473,767	534,495
売上原価	△278,406	△333,273
売上総利益	195,361	201,222
販売費及び一般管理費	△123,157	△166,976
その他の収益	35,120	17,809
その他の費用	△1,840	—
営業利益	105,485	52,055
金融収益	6	6
金融費用	△924	△311
税引前四半期利益	104,566	51,749
法人所得税費用	△37,600	△18,323
四半期利益	66,966	33,426
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	2,384	1,614
純損益に振り替えられることのない 項目合計	2,384	1,614
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,623	780
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	1,623	780
税引後その他の包括利益	4,007	2,394
四半期包括利益	70,973	35,820
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	67,151	33,581
非支配持分	△185	△155
四半期利益	66,966	33,426
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	70,257	36,435
非支配持分	716	△615
四半期包括利益	70,973	35,820
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	15.21	7.74
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	15.12	7.67



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2021年3月1日時点の残高	621,038	1,554,687	△30,544	△15,241	621,094	2,751,033	△26,504	2,724,529
四半期利益	—	—	—	—	41,046	41,046	△1,389	39,657
その他の包括利益	—	—	—	1,761	—	1,761	899	2,660
四半期包括利益合計	—	—	—	1,761	41,046	42,806	△490	42,317
減資	△576,038	576,038	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	△121,327	—	—	121,327	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△26	—	—	△26	—	△26
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△576,038	454,711	△26	—	121,327	△26	—	△26
2021年8月31日時点の残高	45,000	2,009,398	△30,571	△13,480	783,466	2,793,813	△26,994	2,766,819

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	45,000	2,009,308	△90,185	△18,486	948,930	2,894,567	△28,136	2,866,430
四半期利益	—	—	—	—	53,957	53,957	△344	53,613
その他の包括利益	—	—	—	△2,017	—	△2,017	△2,137	△4,154
四半期包括利益合計	—	—	—	△2,017	53,957	51,941	△2,481	49,460
自己株式の処分	—	32	1,970	—	—	2,002	—	2,002
配当金	—	—	—	—	△34,695	△34,695	—	△34,695
所有者との取引額合計	—	32	1,970	—	△34,695	△32,693	—	△32,693
2022年8月31日時点の残高	45,000	2,009,339	△88,215	△20,503	968,193	2,913,814	△30,617	2,883,197

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	52,109	75,891
減価償却費及び償却費	36,263	39,041
金融収益	△6	△6
金融費用	1,880	1,008
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,721	△17,235
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	145,018	51,337
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△33,386	△158,715
その他	△120,098	△57,875
小計	79,060	△66,553
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△1,879	△1,009
法人所得税の支払額	△3,777	△38,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,410	△106,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△701	△1,582
無形資産の取得による支出	△23,679	△43,210
資産除去債務の履行による支出	△1,910	—
その他	6,277	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,013	△44,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△34,695
長期借入金の返済による支出	△97,216	△83,328
自己株式の取得による支出	△26	—
リース負債の返済による支出	△14,147	△15,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,389	△133,535
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,992	△284,504
現金及び現金同等物の期首残高	873,643	1,072,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△783	△1,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	814,868	786,140

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。